

2026年6月17日
株式会社SVPジャパン

SVP注目市場分析 「自己修復材料・形状記憶ポリマー」を公開

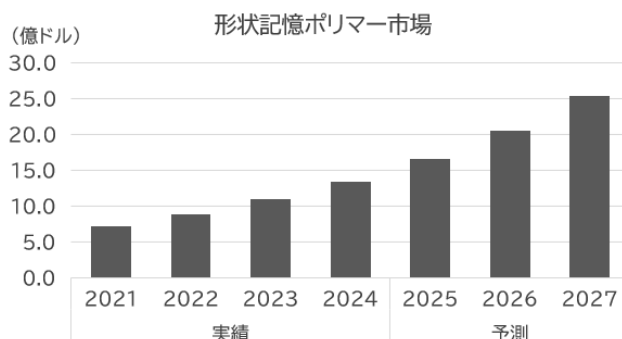
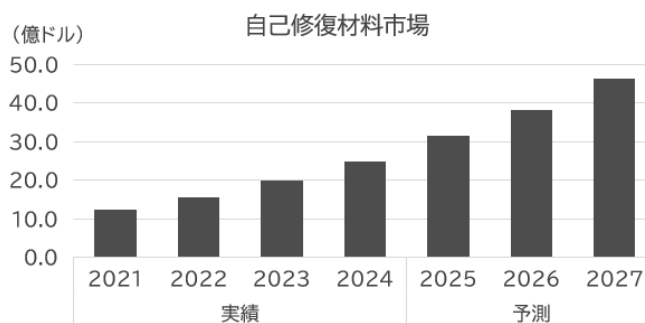
～サステナブル社会を支える高機能スマート素材の市場展望～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「自己修復材料・形状記憶ポリマー -世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

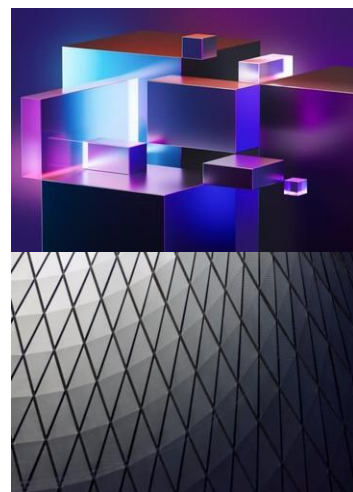
■ 自己修復材料・形状記憶ポリマーの世界市場

自己修復材料・形状記憶ポリマーは、損傷を自律的に修復する材料と、温度・光・水分などの刺激に応答して記憶形状へ戻る高分子材料を対象とする市場である。両者は「能動的に機能するスマートマテリアル」として技術的に重なり始めており、自己修復と形状記憶を併せ持つ複合材料も登場している点が特徴である。本市場が注目に値するのは、製品寿命の延長、保守コストの削減、脱炭素・循環型経済への対応という複数の経営課題を同時に解決し得るためである。形状記憶ポリマーは金属系材料を大きく上回る変形性を持ち、軽量・低コスト・設計自由度の高さでも優位性を示す。今後の成長を押し上げる背景には、EUを中心とするサステナビリティ政策、再生可能エネルギーインフラの長寿命化、次世代バッテリーの安全性向上、航空宇宙分野での軽量化需要がある。研究開発主導の段階から、社会実装・量産化を見据えたフェーズへ移行しつつあるのだ。なかでも有望なのは、医療・ヘルスケア、次世代電池、自己修復コーティング、自己修復コンクリートである。特に医療分野では、体温や体液をトリガーに作動するステント、塞栓プラグ、4Dプリンティングによる個別化インプラントなど、低侵襲治療を支える高付加価値用途として市場拡大が期待される。



■ 自己修復材料・形状記憶ポリマーの市場概況

自己修復材料・形状記憶ポリマー市場は、研究開発段階を越え、産業実装と量産化を見据えた成長局面に入りつつある。自己修復材料では、自動車用コーティング、インフラ向け自己修復コンクリート、エネルギー用途が需要を牽引し、保守負荷の低減や製品寿命の延長を実現する基盤技術として存在感を高めている。一方、形状記憶ポリマーでは、医療機器、フレキシブルエレクトロニクス、航空宇宙向け軽量構造材など、材料機能そのものが製品価値に直結する分野で採用が広がる。競争環境は、大手化学メーカーによる基盤材料供給と、用途特化型企业による実装開発が併存する構造である。なお、強度と機能性の両立、コスト、標準化といった課題は残るものの、日本市場では自動車、医療、エレクトロニクス、インフラ老朽化対応を背景に、高付加価値材料としての成長余地が大きい。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造
- VII. 課題
- VIII. 日本市場の動向



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

7月のテーマは「高耐熱・高放熱材料」と「パワー半導体」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com